

愛知県農林水産業の 試験研究基本計画2025 [林業部門]

中間評価について



重点研究目標

ア 循環型林業の推進のための
スマート林業及び木材利用の
推進

イ 森林の整備による多面的
機能の発揮

研究事項

- (ア) ICT等を活用した森林管理・利用技術の開発
- (イ) 県産木材の利用用途の検討



- (ア) 成長の早い苗木及び花粉症対策苗木の生産・育林技術の開発
- (イ) 健全な森林育成技術の開発



これまでの経緯と今後の予定

森林・林業技術センター

9月11日 グループ別進捗会議



各研究員が自己評価を実施
センター内で中間評価(案)の取りまとめ(内部評価)

9月25日～
10月10日 林業専門分科会 (意見照会)



外部有識者及び関係機関からの評価(外部評価)

11月 21日 農林水産技術会議



本会議への報告

次年度以降の研究課題に反映

重点研究目標の進捗

ア 循環型林業の推進のためのスマート林業及び木材利用の推進

達成目標数(計画時点:8)

目標を達成し 完了	実施中	計画を変更 (c~d評価)	研究を中止 (c~d評価)	新規研究を 開始	達成目標数 (中間評価時点)
2	6	0	0	0	8

(1) 計画期間で得られた主な成果

- ・ 閉鎖型採種園におけるエリートツリー採種木について、水分ストレスが花芽形成の促進に効果的であることを明らかにした。
- ・ 苗木等の運搬作業において、ドローンによる作業時間を検証し、運搬距離に応じた効率的な作業システムを明らかにした。
- ・ 獣害防止対策として、獣害防護柵内に侵入したシカをICTを活用し、早期・省力的に発見するシステムを開発した。

(2) 新たな対応が必要となった研究(見直し、中止、新規研究課題)

該当なし

達成目標数(計画時点:10)

目標を達成し 完了	実施中	計画を変更 (c~d評価)	研究を中止 (c~d評価)	新規研究を 開始	達成目標数 (中間評価時点)
0	9	0	1	0	10

(1) 計画期間で得られた主な成果

- ・ スギ・ヒノキのコンテナ苗生産において、ハウス等を活用することによる効率的な生産手法を検討し、1年生苗での出荷を可能とする技術を明らかにした。
- ・ 竹林の拡大防止に向けて、適用済農薬を使用することで従来よりも短期間で効果的な駆除技術を開発した。

(2) 新たな対応が必要となった研究(見直し、中止、新規研究課題)

- ・ 作業の省力化及び安全性の向上に向けた林業機器の改良については、草刈機器メーカーと検討したが、改良に向けた同意が得られず研究を取りやめた。